

月刊美術

G E K K A N B I J U T S U

美術愛好家の
パートナー

4

NO.415 2010

月刊美術 4月号

NO.415
2010

平成二十二年四月二十日発行

第三十六巻第四号通巻四百一十五号

毎月一回二十日発行 昭和五年十二月二十二日第三種郵便物認可

編集人 小川礼子
発行人 増田義和

発行 サン・アート
発売 実業之日本社

定価一、八四〇円(本体一、七五二円)
発行 サン・アート
発売 実業之日本社

どうなる「日本画」——巨星なきあと、画壇は？

春爛漫 桜対決



現代の名手による傑作選



笠井誠一 静物C

緊急
特集

どうなる「日本画」

——巨星なきあと、画壇は？

今月の「イチ推し」本

デザインが奇跡を起こす「思いを「カタチ」にする仕事術

水谷孝次著

四六判 256ページ

1470円 PHP研究所

オリンピックの開会式を覚えているだろうか。といっても一昨年の北京五輪のこと。「スタジアムをとり囲む大型スクリーンに子どもたちの笑顔が映し出され、同時に、球体の周り

デザインが
奇跡を起こす

「思いを「カタチ」にする仕事術



水谷孝次

PHP研究所

ストーリーには違いはない。ただ例えば、先の北京五輪の件での収入はゼロ。データ作成

で二〇〇八本の笑顔の傘が次々に開かれた」。あの世界中の子供たちの笑顔を撮影したのが、著者。73年からアートディレクター、グラフィックデザイナーとして活躍。世界のポスター展で受賞をかさねてきた著者が、行き着いたのが人々の笑顔の写真だった。題して「MERRY」。デザインという仕事は、結局のところ社会(の幸福)をデザイ

ンすることに繋がる。その象徴がMERRYでもある。「…情熱。何としてもこれを作り上げて、大成功させるのだという気持ちと気迫」を持ち、「みんなが時速四十キロで走っているところを、僕は二〇〇キロで走る」と自身がいうように、ひたすら突っ走って手に入れたものは…。そう、本書はサクセスストーリーには違いはない。ただ例えば、先の北京五輪の件での収入はゼロ。データ作成の費用や渡航費などは、つまり持ち出し。だから、努力への対価を期待する人にとっては、成功譚でも何でもなし。成功の秘訣を教えてくれるノウハウ本でもないから読んでも無駄。それにつけても大事なものがあ、と思う人のみ読むべきだ。走り続けた著者の文には淀みがない。つられて読み切って、後に残る爽快感は一体何だろう。